情報提供日	2026年(令和8年) 10月21日 No.202607
問い合わせ先	広報プロモーション室 天文科学館 （担当：石井、沖中、西山）
	078-919-5000（内線 7152）

報道機関のみなさまへ

人類が“はじめて”手にした小惑星のサンプル展
火星衛星探査計画 MMX につながる
3小惑星のサンプルが同時公開！

明石市立天文科学館では、特別展「はじめ展（てん）～時と宇宙と人をつなぐモノがたり～」の後期展示として、イトカワ、リュウグウ、ベヌーの3つの小惑星のサンプルを展示します。3つの小惑星の実物サンプルを一堂に見ることができる貴重な機会です。

記

1．名　　称　特別展「はじめ展(てん)～時と宇宙と人をつなぐモノガタリ～」後期展示「人類が“はじめて”手にした小惑星のサンプル展」

2．期　　間　2026年10月24日(土)～12月6日(日)

3．展示場所　天文科学館・3F 展示室 他

4．協　　力　宇宙航空研究開発機構（JAXA）、国立極地研究所

5．内　　容

人類が宇宙探査によって手にした小惑星の実物サンプルを中心に、小惑星や太陽系、宇宙探査に関する資料を展示します。

・小惑星イトカワのサンプル
JAXA の小惑星探査機「はやぶさ」が持ち帰ったサンプル。
ズーム式マイクロスコープで粒子を観察できます。

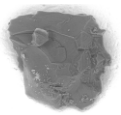
・小惑星リュウグウのサンプル
JAXA の小惑星探査機「はやぶさ 2」が持ち帰ったサンプル。

・小惑星ベヌーのサンプル
NASA の小惑星探査機「オシリスレックス」が持ち帰ったサンプル。

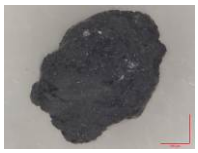
・火星衛星探査計画 MMX 関連資料
MMX 探査機模型、火星の衛星フォボスの模型などを展示します。

・火星隕石「Yamato 000593」、炭素質隕石「Yamato 980115」
国立極地研究所所蔵の南極隕石です。火星隕石は、大阪・関西万博の日本館で展示された火星隕石と同じ隕石から分けられた一部です。

これらの実物資料や模型を通して、小惑星をはじめとする太陽系や宇宙探査への関心を高め、学ぶ機会を提供します。



イトカワサンプル
©JAXA



ベヌーサンプル
©JAXA



火星隕石
「Yamato 000593」
©国立極地研究所

5．講演会

・講　師　　小嶋 智子（JAXA 地球外物質研究グループ主任研究開発員）
・日　時　　11月8日(日) 18時30分～20時30分
（参加費 500 円（駐車料金別途 200 円）、定員 150 名、事前申込制（HP より））



小惑星探査機「はやぶさ」



小惑星探査機「はやぶさ 2」



小惑星探査機
「オシリスレックス」



火星衛星探査計画 MMX